

## 製品安全データシート

会社名 三菱樹脂株式会社  
 住 所 東京都千代田区丸の内2-5-2  
 担当部門 包装容器事業部  
 電話番号 03-3283-4081 FAX番号 03-3216-1251  
 緊急連絡先 筑波製造所 技術グループ  
 電話番号 029-841-7063  
 作 成 1994年 6月 9日  
 改 訂 2002年 9月 1日  
 最終改訂 2005年 4月 1日

製 品 名	二軸延伸ナイロンフィルム (商品名 サントニール SNR、サントニール ST)	
物 質 の 特 定	化学名 :	ポリεカプロラクタムアミド(ナイロン6)
	成分及び含有量:	98%以上
	化学式 :	$-(NH(CH_2)_5CO)_n-$
	官報公示:(化審法)	(7)-357
	整理番号:(安衛法)	(7)-357
	CAS No.	25038-54-4
	国連分類: 国連の定義上、危険物に該当しない。 国連番号: 国連の定義上、危険物に該当しない。	
危険有害性の分類	分類の名称: 分類基準に該当しない。	
応 急 措 置	目に入った場合 : 通常の異物が入った場合と同一の処置とする。異常があれば医師の診断を受ける。  皮膚についた場合 : 必要なし。  吸入した場合 : 必要なし。  飲み込んだ場合 : 必要なし。	
火 災 時 の 措 置	消火方法: 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えないが、状況に応じ呼吸用保護具等を着用する。 消火剤: 水、炭酸ガス、粉末等の一般消火剤	
漏 出 時 の 措 置	回収し廃棄または焼却する。排水系などの水面へ漏出した場合は鳥類、魚類等への悪影響もあるので全て回収する事。	

<p>取扱い及び保管上の注意</p>	<p>取扱い : 荷崩れ防止や落下防止等一般的な製品取扱上の注意をする。 加工中、静電気が発生しスパークする可能性があるので、加工機には適宜、静電気除去装置を設置する。</p> <p>保管 : 熱・発火源から遠ざける等一般的な製品保管上の注意をする。</p>																				
<p>暴露防止措置</p>	<p>管理濃度 : 設定されていない。(労働省告示第26号 1995.3.27)</p> <p>許容濃度 日本産業衛生学会('94年度版) : 設定されていない。 ACGIH ('94~'95年度版) : 設定されていない。</p> <p>設備対策 : 必要なし。</p> <p>保護具 : 呼吸用保護具 : 必要なし。 保護手袋 : 必要なし。 保護眼鏡 : 必要なし。 保護衣 : 必要なし。</p>																				
<p>物理・化学的性質</p>	<p>外観等 : 透明のフィルムで無臭。</p> <p>沸点 : ---</p> <p>蒸気圧 : ---</p> <p>揮発性 : ---</p> <p>融点 : 220℃</p> <p>比重 : 1.16</p> <p>初留点 : ---</p> <p>溶解度 : 水に不溶。 m-クレゾール、蟻酸、濃硫酸等に可溶。</p>																				
<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : ---</p> <p>発火点 : 400℃以上</p> <p>爆発限界 : ---</p> <p>可燃性 : あり</p> <p>発火性 自然発火性 : なし 水との反応性 : なし</p> <p>酸化性 : なし</p> <p>自己反応性・爆発性 : なし</p> <p>粉塵爆発性 : なし</p> <p>安定性・反応性 : 常温・常圧で安定。</p> <p>その他 : 万一、着火の場合を想定して、呼吸用保護具を装備 (火災時の措置) しておくことが望ましい。</p>																				
<p>有害性情報</p>	<p>ナイロン6については動物を使った毒性試験が種々行われており、対照動物との間に差は認められていない。<sup>1)</sup></p> <table border="0"> <tr> <td>皮膚腐食性</td><td>: なし</td><td>がん原性</td><td>: なし</td></tr> <tr> <td>刺激性</td><td>: なし</td><td>変異原性</td><td>: なし</td></tr> <tr> <td>感作性</td><td>: なし</td><td>生殖毒性</td><td>: なし</td></tr> <tr> <td>急性毒性</td><td>: なし</td><td>催奇形性</td><td>: なし</td></tr> <tr> <td>亜急性毒性</td><td>: なし</td><td>その他</td><td>: なし</td></tr> </table>	皮膚腐食性	: なし	がん原性	: なし	刺激性	: なし	変異原性	: なし	感作性	: なし	生殖毒性	: なし	急性毒性	: なし	催奇形性	: なし	亜急性毒性	: なし	その他	: なし
皮膚腐食性	: なし	がん原性	: なし																		
刺激性	: なし	変異原性	: なし																		
感作性	: なし	生殖毒性	: なし																		
急性毒性	: なし	催奇形性	: なし																		
亜急性毒性	: なし	その他	: なし																		
<p>環境影響情報</p>	<p>分解性 : 知見なし</p> <p>蓄積性 : 知見なし</p> <p>魚毒性 : 知見なし</p> <p>その他 : 海洋生物、鳥類が摂取する事を防止するためいかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。</p>																				
<p>廃棄上の注意</p>	<p>埋め立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い公認の産業廃棄物処理業者若しくは、地方公共団体がこの処理を行っている場合には、その団体に委託して処理をする。</p> <p>焼却する時は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処置を施して焼却する。<sup>3)</sup></p>																				

輸送上の注意	梱包袋が破れない様に、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
適用法令	<p>消防法</p> <p>危険物 : 該当せず</p> <p>指定可燃物 : 該当せず</p> <p>労働安全衛生法</p> <p>危険物 : 該当せず</p> <p>有機溶剤 : 該当せず</p> <p>特定化学物質 : 該当せず</p> <p>変異原性物質 : 該当せず</p> <p>毒物及び劇物取締法</p> <p>毒物・劇物 : 該当せず</p> <p>船舶安全法 : 該当せず</p> <p>廃棄物処理法 : 廃プラスチックに該当する。</p> <p>食品衛生法 : 食品包装として使用する時は該当する。</p>
その他	<p>記載内容の問い合わせ先</p> <p>三菱樹脂(株) 包装容器事業部</p> <p>電話 03-3283-4081 Fax 03-3216-1251</p> <p>引用文献</p> <p>1) 「食品用プラスチック衛生学」厚生省環境衛生局化学課編 (講談社 P237)</p> <p>2) FDA 21CFR Part177-1500 (a) (b)</p> <p>3) 「廃プラQ&amp;A」 工業用熱可塑性樹脂技術連絡会</p>